



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年2月5日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4512 URL http://www.wakamoto-pharm.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神谷 信行
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 増田 康彦 TEL 03-3279-0371
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,784	6.7	178	—	423	—	242	—
25年3月期第3四半期	7,295	—	△175	—	△4	—	△57	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	6.98	—
25年3月期第3四半期	△1.66	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	17,743	13,211	74.5	380.04
25年3月期	17,552	12,638	72.0	363.37

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 13,211百万円 25年3月期 12,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200	2.7	40	88.6	280	55.9	720	292.7	20.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	34,838,325株	25年3月期	34,838,325株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	75,370株	25年3月期	56,791株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	34,774,518株	25年3月期3Q	34,790,120株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における医薬品業界は、引き続き医療費抑制策の基調は変わらず、また、一般用医薬品市場も低迷が続いており、厳しい環境下で推移いたしました。

そのなかにあって当社の医薬事業では、主力製品である「ジクロード点眼液0.1%」、「ゼペリン点眼液0.1%」「リズモンTG点眼液」等の点眼剤、緑内障・高眼圧症治療点眼後発薬「ラタノプロスト点眼液0.005%わかもと」・「ラタノプロスト点眼液0.005%NP」、眼科手術補助剤・硝子体内注用副腎皮質ホルモン剤「マキユエイド硝子体内注用40mg」および共同販売医家向けサプリメント「オキュバイト」シリーズ等の販売促進を行ってまいりました。

薬粧事業では、主力製品である「強力わかもと」に加え、薬用歯磨き（医薬部外品）「アバンビーズ」シリーズをリニューアルした「アバンビーズDX」シリーズとして「アバンビーズDX歯周病予防」「アバンビーズDX口臭予防」「アバンビーズDXダンプランシユ美白」「アバンビーズDX知覚過敏予防」「アバンビーズDX コーラルε（イプシロン）」の5製品および新発売した「わかもと整腸薬ビナチュラ」の販売促進を行ってまいりました。

特販事業では、国内向けに医薬品原料の販売と他社受託品を、海外向けに「わかもと」、乳酸菌および点眼剤の製造販売に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は77億8千4百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益1億7千8百万円（前年同期は営業損失1億7千5百万円）、経常利益は4億2千3百万円（前年同期は経常損失4百万円）、四半期純利益は2億4千2百万円（前年同期は四半期純損失5千7百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では「ジクロード点眼液0.1%」、「ゼペリン点眼液0.1%」、「リズモンTG点眼液」が減少しましたが、「マキユエイド硝子体内注用40mg」、「オキュバイト」の売上が増加いたしました。その結果、売上高は43億4千4百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

薬粧事業では、主力製品の「強力わかもと」の売上が増加し、その結果、売上高は15億5千1百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

特販事業では、国内向けに他社受託品が増加し、また輸出用「わかもと」が堅調に推移いたしました。その結果、売上高は18億8千5百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、177億4千3百万円となり前事業年度末比1億9千1百万円（1.1%増）の増加となりました。流動資産は93億6百万円となり1億8千2百万円（1.9%減）の減少、固定資産は84億3千7百万円となり3億7千3百万円（4.6%増）の増加となりました。

流動資産が減少いたしましたのは、商品及び製品が減少したことが主たる要因であり、固定資産が増加いたしましたのは、株価の上昇に伴い、投資有価証券が増加したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、45億3千2百万円となり前事業年度末比3億8千1百万円（7.8%減）の減少となりました。流動負債は28億8千2百万円となり4億8千7百万円（20.4%増）の増加、固定負債は16億4千9百万円となり8億6千8百万円（34.5%減）の減少となりました。

流動負債が増加いたしましたのは、一年以内返済予定の長期借入金（固定負債）を短期借入金に振替えたことが主たる要因であり、固定負債が減少いたしましたのは、前述のとおり長期借入金が増加したことが主たる要因であります。

純資産の部は、132億1千1百万円となり前事業年度末比5億7千2百万円（4.5%増）の増加となりました。その他有価証券評価差額金が増加したことが主たる要因であります。この結果、自己資本比率は、前事業年度末の72.0%から74.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。平成25年11月20日「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,533,559	2,726,322
受取手形及び売掛金	3,793,239	3,822,532
有価証券	405,995	406,178
商品及び製品	1,374,749	1,240,733
仕掛品	395,302	364,638
原材料及び貯蔵品	511,353	457,924
繰延税金資産	332,523	196,449
その他	142,030	91,753
流動資産合計	9,488,753	9,306,532
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,464,961	6,684,896
減価償却累計額	△3,642,020	△3,827,047
建物（純額）	2,822,940	2,857,848
構築物	272,592	272,589
減価償却累計額	△187,264	△197,587
構築物（純額）	85,328	75,001
機械及び装置	7,179,602	7,353,954
減価償却累計額	△6,195,971	△6,401,230
機械及び装置（純額）	983,630	952,724
車両運搬具	39,046	33,301
減価償却累計額	△36,097	△31,544
車両運搬具（純額）	2,948	1,757
工具、器具及び備品	796,206	812,594
減価償却累計額	△729,517	△750,694
工具、器具及び備品（純額）	66,688	61,900
土地	341,552	341,552
建設仮勘定	311,418	382,682
有形固定資産合計	4,614,507	4,673,467
無形固定資産		
特許実施権	300,000	300,000
特許権	942	853
ソフトウェア	70,588	134,780
ソフトウェア仮勘定	73,781	—
その他	5,943	5,868
無形固定資産合計	451,255	441,502
投資その他の資産		
投資有価証券	1,971,059	2,467,677

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
保険積立金	592,805	592,924
関係会社出資金	1,777	—
繰延税金資産	341,164	174,471
その他	90,859	87,140
投資その他の資産合計	2,997,666	3,322,214
固定資産合計	8,063,429	8,437,184
資産合計	17,552,183	17,743,716
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,111,387	981,505
短期借入金	332,000	1,035,000
未払法人税等	56,745	16,709
未払消費税等	39,635	12,635
賞与引当金	262,100	97,614
返品調整引当金	13,000	11,000
その他	579,759	727,957
流動負債合計	2,394,628	2,882,422
固定負債		
退職給付引当金	1,406,908	1,412,009
役員退職慰労引当金	9,600	9,600
長期借入金	1,102,000	228,000
その他	316	316
固定負債合計	2,518,824	1,649,925
負債合計	4,913,452	4,532,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,826	2,675,826
利益剰余金	6,085,089	6,327,974
自己株式	△15,956	△21,356
株主資本合計	12,140,846	12,378,331
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	497,884	833,035
評価・換算差額等合計	497,884	833,035
純資産合計	12,638,731	13,211,367
負債純資産合計	17,552,183	17,743,716

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	7,295,038	7,784,554
売上原価	3,526,801	3,567,292
売上総利益	3,768,237	4,217,261
販売費及び一般管理費	3,943,396	4,038,514
営業利益又は営業損失(△)	△175,158	178,747
営業外収益		
受取利息	401	443
受取配当金	34,032	36,891
受取地代家賃	19,230	18,714
受取技術料	108,822	133,766
受取補償金	—	46,000
その他	70,805	69,411
営業外収益合計	233,293	305,227
営業外費用		
支払利息	20,903	17,975
固定資産除却損	789	4,197
寄付金	16,421	17,623
その他	24,799	20,901
営業外費用合計	62,914	60,697
経常利益又は経常損失(△)	△4,780	423,276
特別利益		
固定資産売却益	142,083	139
役員退職慰労引当金戻入額	136,300	—
特別利益合計	278,383	139
特別損失		
固定資産除却損	53,631	—
投資有価証券評価損	158,622	—
関係会社清算損	—	1,777
特別損失合計	212,254	1,777
税引前四半期純利益	61,348	421,639
法人税、住民税及び事業税	12,700	34,800
法人税等調整額	106,293	143,955
法人税等合計	118,993	178,755
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△57,644	242,884

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注)2
	医薬事業	薬粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,325,957	1,402,450	1,559,103	7,287,511	7,527	7,295,038	—	7,295,038
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,325,957	1,402,450	1,559,103	7,287,511	7,527	7,295,038	—	7,295,038
セグメント利益又は 損失(△)	△219,582	△83,605	129,010	△174,177	△981	△175,158	—	△175,158

(注)1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注)2
	医薬事業	薬粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,344,716	1,551,716	1,885,502	7,781,935	2,619	7,784,554	—	7,784,554
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,344,716	1,551,716	1,885,502	7,781,935	2,619	7,784,554	—	7,784,554
セグメント利益又は 損失(△)	△241,679	69,095	348,946	176,363	2,383	178,747	—	178,747

(注)1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(追加情報)

当社は、平成25年11月20日開催の取締役会において、下記のとおり本社を移転することを決議いたしました。

1. 新本社所在地
東京都中央区日本橋本町二丁目2番2号
2. 移転時期（業務開始日）
平成26年4月1日（火）
3. 移転の理由
現在本社が入居しているビルが日本橋本町二丁目地区開発計画の対象となったため。
4. 業績に与える影響
日本橋本町二丁目地区開発計画に伴う本社移転に伴い、平成26年3月期に特別利益863百万円（移転補償金）並びに特別損失23百万円（固定資産除却損）の計上を見込んでおります。
5. その他
新本社所在地は、現所在地と同じ東京都中央区内のため、本社移転に伴う定款の変更はございません。